

JA全農えひめ情報

# みらいへど

2019

4 - May  
Apr. 5

■特集

JA全農・愛媛県本部「3か年計画」



美味絶賛  
 ① 紅まどんな  
 ②

# ドライフルーツ



▲開封一番、ミカンのさわやかな香りが広がる。風味も色もそのままに、もっちり、ジューシーなドライフルーツ。宇和島市の道の駅ささいや広場に各種並び、「シトラスチップス」はミカン7種のお得なセット。道の駅みま、松山市の空港、道後商店街にもある



▲それぞれの視点と立場の意見交換で目指すは、より良い商品づくり。工場長の清末成さん(左)と営業部長の柳野吉重さん

## 株式会社げんき本舗

住所 宇和島市坂下津甲407-49  
 TEL 0895-23-2453  
 設立 2006年(平成18年)  
 代表者 代表取締役 鈴木 弘幸

「農家の大変な労力は、生果も規格外も同じ。気持ちを抱負い、感謝して大切に使用していきます」と柳野営業部長。昨夏の豪雨で自身も被災した清末工場長は「宇和島のおいしいものが全国に知られ幸せな気持ちになってもらい、地元に貢献していけたなら」。妥協しない商品づくりの根底を見た思いです。

包装資材を扱う親会社の西部包装が業務に特化して、輸入ドライフルーツを小分け商品化して評判となったのが、げんき本舗の発端です。

ドライフルーツを国産の、まだどこも手をつけていない愛媛ミカンでできないだろうか。地域貢献につながる自社製造で、原料も、従業員も、地元から。

2015年、新工場・<sup>えびすやま</sup>戎山ファクトリーの操業を開始します。温州ミカンをはじめ、糖度、酸味、皮の厚み、様々に違うあらゆるミカンを試します。加糖の量、乾燥機の温度・時間・風量、多々に組み合わせ、失敗は経験となり、さらなる勘を研ぎ澄ませて。皮が薄くて高糖度、ゼリー状の実が持ち味の「紅まどんな」には特に苦心しますが、2年の時を経て、やっと製造の安定化へこぎつけます。添加物は最低限に、時間経過後も変色せず、それぞれの味が生きた愛媛県民も納得のドライフルーツへ。

### 「紅まどんな」は J A全農の登録商標です!

愛媛生まれのオリジナル品種・紅まどんなは、ゼリーのようになめらかな果肉、たっぷり果汁、大玉で紅の濃い美しい外観から、贈答用に需要が高まっています。

# あぐり〜ど

2019年4 - 5月号

## CONTENTS

### 全農グループの経営理念

私たち全農グループは、  
生産者と消費者を安心して結ぶ  
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

### 今月の表紙



「近所に子猫が生まれたよ。」

春キャベツが隅に置かれた縁側の、みかん箱に母猫、子猫が寄り添って、「わあ、小さくてかわいい!」「抱いてもいい?」と興味いっぱいの子どもたち。にこにこ眺めるおばあちゃん、「おやつをどうぞ」と柏餅やぼたもちをテーブルに運ぶおねえさん。野に山に、小さな庭にも春の風景があふれています。

●表紙：春の子猫  
はら ふみ(イラストレーター)

※『あぐり〜ど』は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心一つにする (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.209

## 美味絶賛〜紅まどんな②〜 株式会社げんき本舗

2

〈特集〉

全力結集で挑戦し、未来を創る

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦、  
「地域の活性化」への貢献に取り組みます!

8

機構改革と人事異動

9

全農愛媛県本部 平成31年度機構図&ライン管理職等配置

10

THE・ねっとわーく

12

ふるさと ESSAY VOL.277

## 笑いとストレス

枝廣 篤昌さん

14

TOPIC NEWS

19

統計BOX

20

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉アスパラガス

### JA全農えひめ

ホームページ  
<http://www.eh.zennoh.or.jp>



■JA全農えひめ「えひめの食」企画  
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>  
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆備えひめ飲料  
<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス㈱  
<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ㈱  
<http://fresh-ranran.jp/>

◆備ひめライス  
<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー㈱  
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

◆JAえひめ物流㈱  
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

## 3か年事業計画

### 生産基盤の確立

- 農業労働力不足への対応および担い手確保・育成への支援等
- ドローン・農業ICTなど革新的技術の導入・普及
- 加工・業務用の米・青果物の契約栽培拡大
- 販売起点の生産提案と資材・サービスの提供
- 品目を見定めた輸入農畜産物の国産への切り替えに向けた生産振興

### 元気な地域社会づくりへの支援

- 農産物直売所・生活店舗など拠点機能の再編強化等、中山間地域のライフライン対策
- 直売所を併設した大型Aコープ店舗（JAファーマーズ）の出店拡大や、新規需要に対応した生活関連事業による地域活性化
- 電力・ホームエネルギー事業の展開などによる地域ライフラインの支援

### JAへの支援強化

- JAの経営基盤強化に向けた、農家対応力・販売力の強化、物流合理化、拠点型事業の一体運営・受託、産地づくり等の支援
- 農業者の所得増大・農業生産の拡大に寄与するJA・本会の自己改革の現場での実践

「**農業者の所得増大**」  
「**農業生産の拡大**」への挑戦、  
「**地域の活性化**」への貢献  
に取り組みます！

全力結集で挑戦し、  
未来を創る

## JA全農 3か年計画

平成31年度からスタートするJA全農の「3か年事業計画」は、①作物別・品目別戦略策定による農業総産出額の計画的・段階的な拡大②マーケットニーズをふまえた販売戦略の構築③元気な地域社会づくりへの支援④急変する海外動向に対応した新たな海外戦略の構築⑤会員還元の最大化を柱に取り組みます。

### 経営計画

#### ●取扱計画

自己改革の加速化や最重点事業施策の取り組み、新たな事業領域への挑戦を通じた事業拡大を織り込み、取扱高は31年度4兆6、600億円、32年度4兆8、500億円、33年度5兆円を計画します。

#### ●収支計画

当期剰余金は、段階的な取扱高の増加にともない、31年度60億円、32年度76億円、33年度115億円の計画とします。

事業利益は32年度から黒字化し、32年度12億円、33年度29億円を計画します。

#### ●剰余金処分計画

出資配当は各年度とも2%配当を計画するとともに、32年度からの事業利益黒字化により32年度10億円、33年度20億円の事業利用分量配当を計画します。

#### ●投資計画

生産振興や販売力強化に向けた広域集出荷施設（米、園芸など）や、農業者の所得増大に向けた青果物加工・選果施設などの投資を積極的にすすめて、3か年で1、150億

# 平成31～33年度 3か年事業計画

## 取り巻く事業環境の変化

### 農業生産の基盤縮小と構造転換

- ・農業就業人口の減少
- ・農業者の高齢化・後継者不足の進行
- ・耕作放棄地の増加
- ・大規模経営体への農地集積の加速
- ・法人経営体の増加と一般法人の農業参入の加速
- ・新技術による農業の労働生産性向上への期待

### 消費の動向

- ・単身・共働き世帯の増加を背景とした中食・外食市場の拡大
- ・コンビニエンスストア、ドラッグストアの伸長
- ・eコマース市場の急速な拡大
- ・インバウンド需要の急増
- ・加工食品の原料原産地表示の義務化
- ・消費税率の引き上げ

### JAグループを取り巻く環境

- ・JAの広域合併・県1JA組成などの組織改革
- ・経済事業の取扱高の減少
- ・JAへの監査法人監査の導入
- ・信用・共済事業の収益力低下懸念

### 農政の動向・海外情勢

- ・TPP11・日欧EPA・TAGなど貿易自由化の進行
- ・外国人労働者の受入拡大
- ・米中の対立激化
- ・中東情勢の不安定化
- ・英国のEU離脱

## 5年後、10年後を見据えた本会のめざす方向

作物別・品目別戦略策定による  
農業総産出額の  
計画的・段階的な拡大

マーケットニーズを  
ふまえた販売戦略の構築

元気な地域社会づくりへの  
支援

急変する海外動向に対応  
した新たな海外戦略の構築

会員還元の最大化

## 平成31～33年度

### 自己改革の加速化

- 米・青果物の直接販売や買取販売拡大に向けた実需者への直接商談、直販関連施設の整備、他企業への出資・業務提携等
- 資材の共同購入や集約対象品目の拡大、広域物流体制の整備、購買・供給体制のスリム化
- 輸出拡大に向けた国内から海外までのサプライチェーンの構築

### 食のトップブランドとしての地位の確立

- 消費者・実需者から選ばれる商品開発による食品製造・加工・外食のシェア拡大
- 生産から消費までのバリューチェーンの構築に向けた他企業との技術連携・業務提携
- eコマース事業、インバウンド需要対応、中食・外食への展開などによる販売チャネルの多様化・拡大

### 海外戦略の構築

- 既存輸出国での販売拡大、輸出用産地の拡大などを通じた輸出競争力の強化
- 他国の農協組織や海外サプライヤー等との関係強化や海外拠点の整備による原料・資材の調達力強化

【表1】JA全農 3か年（31～33年度）取扱計画

(単位：億円)

事業	年度	31年度	32年度	33年度
米穀農産事業		7,203	7,460	7,750
園芸事業		12,059	12,900	13,460
営農・生産資材事業		8,077	8,140	8,380
畜産事業		10,665	10,940	11,230
生活関連事業		8,672	9,060	9,180
合計		46,676	48,500	50,000

円程度を計画します。また、購買力・販売力強化、輸出事業強化のための外部出資を計画します。

●要員計画  
労働契約法にもとづき、有期雇用から無期雇用への身分変更を見込んだうえで、事業環境に対応した要員体制とする観点から、30年度末の計画要員数8,400名から200名程度増員し、33年度末で8,600名程度を計画します。

## 愛媛県本部 3か年計画

愛媛県本部では、重点事業施策を基本に、第37回JA愛媛県大会でも決議された愛媛農業の復興・さらなる発展に向けた「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦、「地域の活性化」への貢献を基本目標とした「創造的自己改革の実践」に対しJAの総合事業を支援し、平成28年度より取り組んだ「農業者所得増大チャレンジ事業」をさらに推し進め、次期3か年計画の着実な実践を図ります。

### 耕種事業（営農食糧部・園芸部・生産資材部）

JAグループ愛媛の創造的自己改革の取り組みを加速化し「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を実現するため、農業生産基盤の確立と販売品取扱高拡大を共通目標に掲げ、JA・関係事業部門の連携強化による「農家手取り最大化プロジェクト」を展開します。重点事項として「マーケットイン（実需者ニーズ）に基づく生産・販売事業の確立」「生産トータル

コストの低減」「営農・経済事業の機能・体制強化」の具現化とともに、スマート農業など新技術の導入普及と地域実情に沿った多様な労働力支援体制の確立に向け、県域機能の拡充によるJA・農業者への支援に取り組み、生産・販売・購買事業一体となった総合力発揮と地域農業の振興に貢献していきます。

### 畜産事業

畜産生産基盤の強化を図るため、既存農場の再編整備や新規生産農場の確保をすすめるとともに、生産性向上対策やICT技術の普及により、肉牛・肉豚生産者の所得向上に取り組みます。

また、系統ブランドの安定生産と品質向上に努めるとともに、大手スーパー・量販店とのマッチング販売推進や直営店舗運営による消費者への直接訴求、地産地消に取り組みます。

### 生活事業

「地域の暮らしへの貢献」のため、組合員・利用者ニーズに即したライフライン対応事業の提案・取扱品目の強化を図り、JA生活

事業の活性化と運営支援強化に取り組みます。

また、県内産を中心とした国産農畜産物の消費拡大・販売力強化を図り、地産地消の取り組み・ネットシステムを活用した宅配事業や直販事業の基盤強化に努め、くらしの安全・安心と健康へ貢献します。

併せて、石油・ガス・電気等エネルギーの効率的供給による、快適で環境にやさしい生活と、高齢者対応事業・葬祭関連の機能強化に取り組み、豊かで暮らしやすい地域社会の実現に貢献します。

### グループ会社

JAグループの会社として生産者・JA・消費者の期待に応えるよう、生産・加工・販売・購買・物流の各分野においてグループでの事業機能の向上を目指します。

また、愛媛県本部グループ会社全体の健全経営を確立し、愛媛農業の振興支援に取り組みます。

### 事業別実施具体策

#### 営農食糧部

①「農業者の所得増大」「農業生

産の拡大」に向けて、「農家手取り最大化プロジェクト」の推進事務局として部門間連携の更なる強化を図ります。またJA TAC（担い手に出向く担当者）活動のステップアップ支援を行うとともに県域TACによる担い手への提案活動を積極的に展開します。

②「県域担い手サポートセンター」の連携による新規就農者の確保・育成や労働力支援確保対策の取り組みを進め、愛媛県内における生産基盤の確立に努めます。

③関係機関と連携し県産農畜産物の付加価値増大・消費拡大に取り組むとともに農業生産工程管理（GAP）の導入に向けた体制整備を支援します。

④米穀については、県内需要に添えていくことを大前提に必要な面積・必要数量を確保するとともに需要に応じた品種別作付けを進めます。特に中食・外食向けの多収穫米については、「あきだわら」を中心に普及・拡大を行います。また、愛媛県育成新品種「ひめの凜」については、良食味栽培実証を行い、ブランド

化に向けた取り組みを進めます。

- ⑤(株)ひめライス・TAC・関連部署と連携し、JA未利用・低利用生産者および法人との関係強化を図り、集荷拡大に向けた総合推進を行います。また、生産者と実需者との結びつきを強固なものとするため、事前契約の拡大に取り組みます。

- ⑥はだか麦については、生産者の手取り向上と実需者への安定供給を図るため、優良品種「ハルヒメボシ」への品種転換を行うとともに収量360kg/10aの実現に向けて関係機関と連携し、排水対策を始めとした基本管理の徹底ならびに作業支援体制の構築を目指します。

### 園芸部

- ①西日本豪雨被災地の産地復旧に向け、JA・行政と連携し支援対応を図ります。

- ②自然災害や異常気象に左右されない生産量の安定維持を図るため、高品質果実生産支援事業等の活用による温州みかんの品質及び正品率の向上に取り組みます。

土壌診断の定点分析を継続

し、土壌診断結果に基づいた石灰資材及び腐食有機物資材の施用率向上による土壌環境の改善を図るとともに、マルチ被覆、着果調整資材、浮皮防止対策資材の普及・定着に取り組みます。

盤の強化、機械化・省力化体系による生産規模の拡大および水田フル活用による露地野菜の推進を図ることで、取扱数量の維持・拡大を目指します。

- ③市場流通を基本とした卸売会社とのパートナー化を図り、パートナー市場10社と連携し、実需者を明確にした予約相対取引に取り組みます。また企画販売推進による買取販売を強化し、販路拡大及び県行政と連携した輸出事業の拡大や有利販売に取り組みます。

- ⑦消費拡大および愛媛野菜のファンづくりに向け、対面型消費宣伝活動の強化と「えひめの食」企画と連携した情報発信、消費者への効果的な産地アピールに取り組みます。

また、生産基盤強化に向けたモデル園地の設定を温州みかんおよび中晩柑で実施します。

⑧実需者ニーズに応じた各取引先へのギフト企画の拡充と県内外の量販店等に対して地元仲卸との連携強化による県内産青果物販売の拡大を図ります。

- ④愛媛県産果実の消費拡大・購入促進を図るため、企画型販促等の店頭試食宣伝販売の充実、「オンラインロード」による果実の情報発信により消費者への効果的なPRに取り組みます。

- ⑨野菜類の業務需要に対応した加工仕向けなど既存取引先への販売強化と新規商品提案などによる新規取引先の開発など販売力強化に取り組みます。

- ⑤「愛媛チーム」として県下3ヶ所(東・中・南予)の既存集出荷施設の重点化推進をすすめるとともに、マーケットインに対応した生産振興対策および栽培技術向上対策による産地生産基

盤の強化、機械化・省力化体系による生産規模の拡大および水田フル活用による露地野菜の推進を図ることで、取扱数量の維持・拡大を目指します。

①肉豚195,000頭、肉牛2,460頭の集荷頭数を達成する

ために、農場の技術成績向上対策を図るとともに新規生産農場の確保や拡大に向け、本所・県行政・各JAと連携した生産基盤づくりに取り組みます。

②伊予牛「絹の味」生産者や「ふれ愛・媛ポーク」認定農場の経営向上を図るため、各生産者協議会活動を中心とした個別検討会の開催や、全農クリニック検査事業への加入促進と野村臨時家畜市場・枝肉共励会等を定期的に開催します。

③畜産生産基盤の再構築のため、養豚事業では後継者育成と併せた基盤整備や愛媛SPF豚センター跡地の後継事業について協議を進め、肉牛事業については肉用牛センターを核としたCBS事業の継続やICT技術の普及により和牛繁殖事業の強化を図ります。

④相場に左右されないマッチング販売やオレイン酸測定による付加価値販売を推進するとともに、効率的な消費宣伝活動を展開し、伊予牛「絹の味」、「ふれ愛・媛ポーク」の系統ブランド力向上・販売強化に取り組みます。

⑤直営店舗「全農のお肉屋さん」

では、生活部と連携した企画販売の強化に取り組み、消費者に直接販売・提供する事業の強化に努めます。

⑥愛媛県産和牛・愛媛県産豚肉の海外輸出実施に向け、県行政や関係機関と連携し取り組みます。

### 生産資材部

①肥料事業においては、化成肥料・果樹配合の銘柄集約、担い手満車直行による資材コストの低減に取り組みとともに、土壌分析を積極的にすすめJA・部会への分析結果をフィードバックし、適正施肥指導の強化を行い高品質生産支援に取り組みます。

②農業事業においては、病害虫発生予察を基にした的確な防除指導の徹底、担い手直送規格・大型規格の取り扱い拡大、市場価格調査を踏まえた弾力的な価格設定を行い資材コストの低減に取り組みます。また、無人航空機（ヘリ・ドローン）を活用した防除作業受託による労働力支援の拡充に取り組みます。

③物流・店舗関係においては、中

四国広域農薬物流センターを核とし、WEB発注や農家戸配送システム（DAS）等の仕組みを導入し、県域物流体制の再構築に取り組み物流サービスの向上とトータル物流コストの低減をめざします。また、県内JA資材店舗の再編に向けたマスタープランの検討・作成に取り組みます。

④園芸資材事業においては、重点銘柄を中心とした被覆加工品の予約推進強化および需要結集大口引取りの促進による資材コスト低減に取り組みます。また、規格型低コストハウスや省力化システムなど新技術の提案・普及をはかり施設園芸の振興に取り組みます。

⑤農機事業においては、事業競争力強化による事業基盤の維持、組合員サービス向上を図るため、JA域を超えた「JA・県域農機事業一体運営」の構築により農機事業体制の確立と機能強化に取り組みます。

⑥段ボール事業においては、「全農唯一の直営工場」としての優位性を最大限発揮するとともに、品質管理体制の強化による

安全で高品質な段ボールの安定供給とサービスレベルの向上に努めます。

また、変化および多様化する包装ニーズや形態に対応すべく、省力化・低コスト化に繋がる付加価値商材の開発や、流通現場における最適なパッケージの企画・提案活動に積極的に取り組みます。

### 生活部

①地域のくらしへ貢献するため、「県域くらしの支援マスタープラン」の整備と展開による地域・組合員ニーズに即したJA生活事業の活性化をすすめ、ライフライン店舗の業態転換・他企業との業務提携や移動購買車等運営強化策の提案による買物支援・高齢者対策に努め、JA収支改善に取り組みます。

②県内産農畜産物の消費拡大に積極的に取り組み、地域農業の振興に寄与するとともに、国産農畜産物を主原料とした「エコープマーク品」や「全農ブランド商品」の取り扱い拡大を図り、国産農畜産物の安全・安心を消費者にお届けします。

③在宅型事業による買物支援としてネット販売・通販チャネルの活用により、事業領域を拡大したダイレクトマーケティング事業の取り組み強化に努めます。

④葬祭協議会活動を通じ、葬祭関連用品の取り扱い拡大と葬祭事業の運営改善・施行レベル向上に取り組み、JA葬祭事業の体制強化を図ります。

⑤拠点型事業・県内産農畜産物販売拠点として、直売所とコンビニとの一体型店舗運営に取り組み、新たな事業モデルの構築による地産地消ならびに地域消費者の利便性向上に努めます。

⑥建設事業においては、施主代行方式による事業強化と拡充に取り組みます。施設事業は関係部署との連携を図り、大規模・高性能施設の計画・提案ならびに既存施設提案活動の強化や「農業施設総合コンサル」による施設導入支援に取り組み、事業領域の拡大に努めます。住宅事業は情報収集機能を強化し、戸建・賃貸住宅のリノベーション提案を柱に事業量の安定確保に努めます。

管理部

①コンプライアンス意識の定着

リスク未然防止やリスク事案発生時の対応等に継続して取り組みます。また、今後のコンプライアンス推進およびリスク管理態勢について、関係部署との検討・協議を深め、より効率的な体制の確立に取り組みます。

②事業部との事業検討会等を通じて、収支管理・投資管理・要員管理を強化し、事業計画の達成に取り組みます。あわせて、全農自己改革の着実な実践に向けた管理・支援に取り組みます。また、グループ会社の健全経営に向けた指導・支援に取り組みます。

③JAとの意見交換会やJA巡回等を通じて、会員の意思を事業運営に取り入れ、JAへの支援強化に努めます。

④各事業部門における事業施策の実現に向け、営業力・企画力向上の人材育成と要員の適正配置を図ります。

⑤JA・組合員に対する県本部グループ事業への理解向上と、広く消費者に対する県産農畜産物の消費拡大に向けた情報提供活動を展開します。

経営計画

取扱計画

農業生産基盤の弱体化が進む中、持続可能な農業の実現に向け、「農家手取り最大化プロジェクト」の展開、産地育成の取り組みや多元的販売の体制強化をはかることにより、取扱高(総供給販売高)は、

【表2】愛媛県本部 3か年(31~33年度)取扱高(総供給販売高)計画

(単位：億円)

事業名	年度	30年度計画	31年度計画	32年度計画	33年度計画
営農食糧事業		35	35	37	37
園芸事業		421	434	437	474
畜産事業		201	193	194	197
生産資材事業		124	126	126	128
生活関連事業		139	144	151	153
合計		920	931	945	989

【表3】グループ会社 3か年(31~33年度)売上高計画

(単位：百万円)

会社名	30年度計画	31年度計画	32年度計画	33年度計画
(株)えひめ飲料	20,022	21,297	21,976	22,090
JAえひめアイパックス(株)	4,109	4,133	4,183	4,232
JAえひめフレッシュフーズ(株)	3,510	3,169	3,254	3,459
(株)えひめライス	4,536	4,792	4,853	4,945
JAえひめエネルギー(株)	2,721	3,129	3,015	2,986
(株)えひめフーズ	669	660	676	692
JAえひめ物流(株)	6,652	6,507	6,502	6,500
合計	42,219	43,687	44,459	44,904

31年度931億円、32年度945億円、33年度989億円とします。

収支計画

厳しい事業環境の中、①「農家手取り最大化プロジェクト」の展開による農業生産基盤の確立と販売取扱高の拡大およびJA・農業者への労働力支援対策、②「愛

媛チーム」力を発揮した県域・広域機能の強化、③新技術の普及および低コスト・省力化に繋がる資材の提案、④広域物流体制の構築によるトータル物流コストの低減、⑤ネット販売・通販チャンネルを活用した販売拡大などの事業展開を図り、当期利益は31年度295百万円、32年度は331百万円、33年度411百万円の計画とします。

投資計画

生産基盤維持を目的とした事業施設・農作業支援等に対する投資を計画します。また、事業所の設備更新や施設老朽化対策、消費電力削減のための設備投資およびシステム更新のための情報システム開発を計画します。

要員計画

事業環境に対応した適正な要員体制を図ることとし、会内要員は31年度期首で212名、32年度期首で216名、33年度期首で219名とします。

# 機構改革と人事異動

J A全農えひめは、4月1日付けで平成31年度の機構改革と定期異動を実施しました。

機構変更では、「愛媛さといも広域選果場」を園芸部野菜花卉課に、「J A中予物流センター」を生産資材部肥料農薬課に新設しました。

この結果、平成31年度は、6部16課15事業所となります（平成31年度機構図はP.9に掲載）。

人事異動は、平成31年度期首職員数219人中、異動者総数は40名です（課長・審査役以上の異動は以下のとおり）。



2月28日、四国中央市に完成した「愛媛さといも広域選果場」。同選果場については6-7月号以降、詳しく紹介します。

## 人事異動（平成31年4月1日付）※課長・審査役以上

氏名	新任部署	旧任部署
能田 和明	(審) 果実課長	(副審) 大阪事業所長
長尾 充博	(審) 肥料農薬課長 J A中予物流センター所長 事務取扱	(審) 肥料農薬課長
重松 秀樹	(審) 段ボール工場販売課長	(審) 東京事業所長
八木 英士	(審) 施設農住課長	(審) 段ボール工場販売課長
和泉 修	(審) 施設農住課 施設専任課長 一級建築士事務所 兼務	(審) 施設農住課長
本田 庄三	J Aえひめエネルギー株式会社 出向	(審) 果実課長

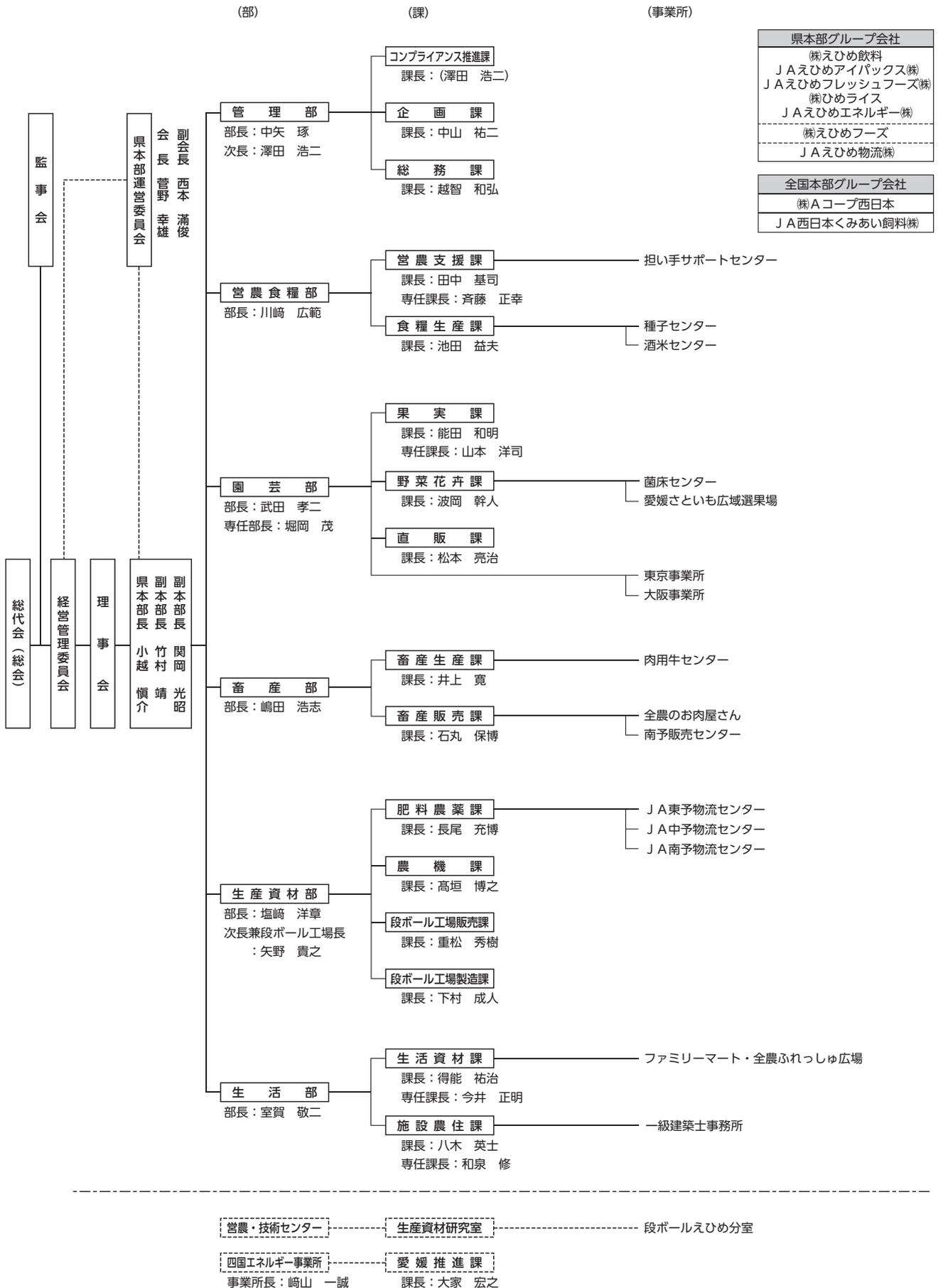
【表の見方】 職能資格呼称等は略称表記しています。

(参事) = 参事役、(審議) = 審議役、(監) = 監理役、(審) = 審査役、(副審) = 副審査役



# 全農愛媛県本部 平成31年度 (2019年度) 機構図&ライン管理職等配置

平成31年4月1日現在 (6部16課15事業所)





# ねっとうわーく

## 「愛媛いよかん大使が消費宣伝キャンペーンを実施」

### 果実課

J A全農えひめ果実課は、全国生産量の9割を占める愛媛いよかんの本格販売にあたり、今年も愛媛いよかん大使による消費宣伝キャンペーンを実施しました。



▲中村知事（中央）と愛媛いよかん大使



▲さっぽろ雪まつり会場で愛媛いよかんの旬到来をアピール



▲東京大田市場をはじめ、各地の市場や仲卸を訪れ、愛媛いよかんの拡販協力を訴えました



▲試食販売や無料配布を実施しました

キャンペーンのスタートにあたり、1月28日には、J A全農えひめの小越慎介県本部長と愛媛いよかん大使4人が愛媛県の中村時広知事を表敬訪問しました。

愛媛いよかん大使4人は、消費宣伝キャンペーンにあたって、「色

よし、味よし、香りよし』三拍子そろった美味しい愛媛のいよかんを一人でも多くの方に召し上がっていただけるようPRしてきます」と決意表明。中村知事に愛媛いよかんを贈呈しました。試食した中村知事は、「美味しくていくらでも食べられる」と絶賛されました。

キャンペーンは毎年行っており、今回が43回目。大使らは、1月19日〜2日間の「第41回えひめみかん祭り」で活動した後、1月30日から2月6日までのべ8日間、札幌・首都圏・関西圏の3都市を回り、市役所・市場への表敬訪問、店舗でのPR販

促活動、さっぽろ雪まつり会場でのいよかん無料配布などの消費宣伝活動を行い、質・量とも日本一の愛媛いよかんをアピールしました。

なお、県内J Aの伊予柑出荷計画量（2月20日時点）は、約1万7,687t（前年比95%前々年比93%）。J A全農えひめ果実課は、高品質果実の厳選出荷・計画出荷の徹底、独自の果実需給調整対策とともに、2月上旬・中旬の出荷ピークにあわせてSP（セールスプロモーション）レディによる店頭試食宣伝販売活動を積極的に実施しました。

平成31年度価格表

(単位：円)

品名	規格	推進価格 (税抜)	消費税	税込価格
えひめ100みかんいよかん混合	ケース (1ℓ×6本)	1,926	154	2,080
えひめ100つぶみかんいよかん混合	ケース (1ℓ×6本)	2,583	207	2,790
えひめみかんいよかん混合350ml	ケース (350ml×24本)	2,787	223	3,010
愛媛の味わい柑橘100	ケース (1ℓ×6本)	2,241	179	2,420
愛媛の清見	ケース (1ℓ×6本)	1,806	144	1,950
POM塩と夏みかん	ケース (490ml×24本)	2,222	178	2,400
愛媛の特煎茶	ケース (500ml×24本)	2,537	203	2,740



「JAグループ愛媛農畜産物消費拡大運動」は、今年も4月1日から、「愛媛の特煎茶・消費拡大運動(JAグループ愛媛農畜産物消費拡大推進本部・県内各JA・JA愛媛中央会・JA全農えひめ主催)」

「JAグループ愛媛農畜産物消費拡大運動」および「愛媛農畜産物愛用運動」を展開!

と「えひめみかんいよかんジュース・県産品愛用運動」を実施しています。この運動は、県内産主要農畜産物の消費拡大により、地域農業の振興とともに、良質で安全な県産品の愛用を進め、県民の健康増進をめざすため毎年取り組んでいるものです。ジュースの愛用運動は8月末まで、お茶は12月末までの期間限定となっております。今年度は計32万ケースを目標に取り組みますので、ご理解とご協力をお願いいたします。いずれの商品も、例年と同様に数量限定で取り扱っています。運動期間中でも品切れの際には販売を終了しますので、早めのご注文をお願いします。 ※「愛媛農畜産物愛用運動」の商品詳細は本誌裏表紙のチラシをご覧ください。 毎年県産品として県内外への贈答品として大変好評であり、今年も贈答需要に対応できるように宅配も受けつけています。詳しくは最寄りのJAにお問い合わせください。

JA新トップ紹介

JAえひめ中央

代表理事理事長  
(平成31年2月28日就任)

みやうち こういちろう  
**宮内 公一郎**



- ◆略歴
- 昭和28年生まれ
- 昭和56年 温泉青果農業協同組合入組
- 平成17年 JAえひめ中央融資部長
- 平成21年 JAえひめ中央金融事業本部参事
- 平成22年 JAえひめ中央営農経済担当常務理事
- 平成28年 JAえひめ中央代表理事専務
- 平成31年 JAえひめ中央代表理事理事長

JA周桑

代表理事組合長  
(平成31年2月3日就任)

やまうち けんじ  
**山内 謙治**



- ◆略歴
- 昭和29年生まれ
- 昭和53年 周桑農業協同組合入組
- 平成17年 JA周桑共済部長
- 平成20年 JA周桑参事
- 平成29年 JA周桑代表理事専務
- 平成31年 JA周桑代表理事組合長

JA松山市

代表理事組合長  
(平成31年1月16日就任)

あべ かずたか  
**阿部 和孝**



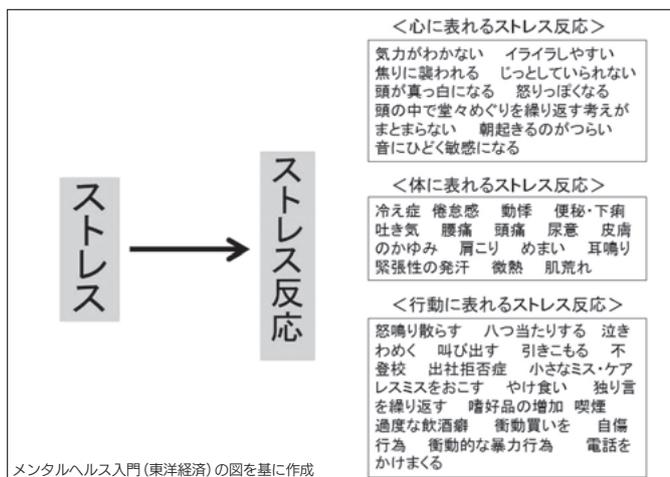
- ◆略歴
- 昭和30年生まれ
- 昭和52年 松山市農業協同組合入所
- 平成11年 JA松山市川上支所長(部長待遇)
- 平成12年 JA松山市共済部長
- 平成13年 JA松山市融資部長
- 平成19年 JA松山市代表理事常務
- 平成25年 JA松山市代表理事専務
- 平成31年 JA松山市代表理事組合長



## 笑いとストレス

健康の大敵はストレスと言われますが、ストレスとは外側から刺激が加わった時に示す生体の反応のことを言います。暑さや寒さ、騒音もストレスの一つですが、刺激のものが分かりやすく、寒い時は服を着たり暖房をつけたりと、対処は比較的容易です。ところが、精神的負担（刺激）は気づきにくく、気づいても上手く処理しきれないことが多いので注意が必要です。最近ではストレスと言えば、精神的ストレスを主に指します。

ストレスがかかると、人間は何らかのストレス反応を起こします（図1）。なんだか気力がわかない、イライラ、頭痛、肌荒れしたり、やけ食いや、経験があると思います。ストレスうまく対処できれば、軽いストレス反応から回復し健康を維持できますが、ストレスがかかり続けると精神的、身体的、言動的に大きな問題が現れること



▲図1

になります。ストレス反応を最小限に抑え、うまく発散させることが大切になってきます。大きな要素の一つが、周囲のサ

# 枝廣篤昌

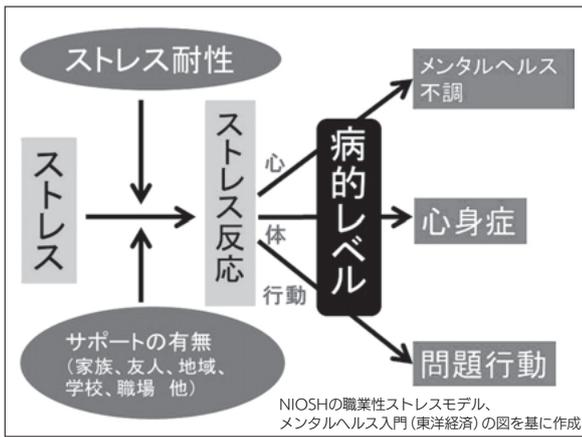
ATUMASA EDAHIRO

### ■プロフィール■

精神科医(四国中央市・豊岡病院 院長)。日本笑い学会四国支部・代表。社会人落語家「芸乃虎や志(ゲイノ コヤシ)」の高座名をもつ。1962年9月22日生まれ、広島県呉市出身。愛媛大学医学部卒業。大学の落語研究会OB、第2回社会人落語日本一決定戦、優勝。精神保健福祉の啓蒙の一環として毎年「うま!心の健康寄席」を開催。新居浜を中心にプロ(古今亭菊志ん、桂吉弥 ほか)やアマ落語家の出演する落語会を企画、演題「笑いのチカラ」の講演、新居浜市の「全国高校生笑い日本一決定戦“笑顔甲子園”」発案等、「笑い」をベースにした地域づくりを実践し、普及活動につとめる。2015年、笑いの体操とヨガの呼吸法をミックスした健康法「笑いヨガ」の認定ティーチャーの資格を修得、笑いクラブ等の身近に笑える場作りにも精力的に取り組んでいる。

### 【イベント】

5月5日(日) 10:00~11:30  
笑いヨガ特別編「えひめ笑いの日 in 新居浜」  
あかがねミュージアム あかがね座(多目的ホール)にて  
無料、申込不要  
お問い合わせ:あかがねミュージアム TEL 0897-31-0305



▲図2

ポイント”です(図2)。見守ってくれる人や相談にのってくれる人がいる・いないでは大きく違います。ストレスのためによく環境であるかも大切です。

もう一つ重要なのが、本人の”ストレスに対する強さ(ストレス耐性)”です。”ストレス耐性”の高い人は、経験を積み重ねたり、困った時に人に尋ね、助けを求めることができる人です。適度な休み、バランス良い栄養をとることも大切です。

そしてもう一つ、笑いのチカラの活用です。落語や漫才を聴いて笑うとストレス物質であるコルチゾールの値が減少し、ストレス発散効果があることがわかってきました。つらいことも見方を変えて笑い飛ばす、ユーモア感覚(”笑い”のコーピング効果)が大いに役に立ちます。喜劇王チャールズ・チャップリンの言葉で「人生はクロウズアップで見れば悲劇だが、ロング



▲白衣姿の枝廣篤昌さん。本業は医師です！

ショットで見れば喜劇だ。(Life is a tragedy when seen in close-up, but a comedy in long-shot.)」があります。同じ現象も見方を変えれば悲劇にも喜劇にも変えることができるのです。ユーモア感覚とは、視線を自在に変える能力とも言え換えられます。ユーモア川柳「サラリーマン川柳」「シルバール川柳」などは自分の状況を客観的に見つめた中から生み出され、なんとも言えない現実をうまく笑いに置き換えているように感じます。「誕生日 ロソク吹いて 立ちくらみ」、「女子会と 言って出掛ける デイケア」、「カード増え 暗証番号 裏に書き」、「景色より トイレが気になる 観光地」(「シルバール川柳」/ポプラ社)などは秀逸です。

## ●「えひめ米品質向上推進大会」

### 需要に応じた米作りに向けてさらなる品質向上を！

愛媛県米麦振興協会とJA愛媛米麦生産者組織協議会などは3月5日、「えひめ米品質向上推進大会」を伊予市で開きました。JAや生産者・行政関係者ら約120人が参加。生産者らが需要に応じた米作りと「えひめ米」の品質向上に取り組むことを確認しました。

大会では、2019年産米政策の変更点や作付計画の基本的考え方を示したほか、2018年産から本格生産を行った「多収穫米」の取り組みや、2019年産より栽培および販売を開始する県育成新品種「ひめの凜」について報告。また、土壌改良による土づくりの重要性についての講演や、18年度の県良質米・麦作・大豆共励会や今年初開催の多収穫米収量コンテストの表彰式などを行いました。

共励会の主な受賞者は次の通り。かっこ内はJAと市町名。

◆良質米共励会【農家の部「コシヒカリ・あきたこまち」部門】▽優秀賞＝倉瀬清（えひめ中央）、片山雄一（ひがしうわ）▽優良賞＝伊賀上雅志（松山市）、関家美将（同）、松本勲（ひがしうわ）◆同【農家の部「ヒノヒカリ・にこまる」部門】▽最優秀賞（県知事賞）＝安藤一仁（西条）▽優秀賞＝井上徹郎（松山市）▽優良賞＝伊藤信行（西条）、長谷川秀夫（同）、山内誠二（周桑）◆同【集団の部「ヒノヒカリ・にこまる」部門】▽最優秀賞（県知事賞）＝農事組合法人妙口原生産組合（周桑）▽優秀賞＝北川地区営農集団（同）◆麦作共励会【農家の部】

▽最優秀賞（全国農業協同組合中央会会長賞）＝竹中恵太（ひがしうわ）▽優秀賞＝伊東章（西条）、福田豊幸（西条）◆同【集団の部】▽最優秀賞（全国米麦改良協会会長賞）＝農事組合法人たちばな（今治立花）、▽優秀賞＝農事組合法人大・宮麦作集団（周桑）、農事組合法人高知（同）◆大豆共励会【農家の部】▽最優秀賞＝竹中恵太（ひがしうわ）▽優秀賞＝井上頼夫（同）◆同【集団の部】▽最優秀賞＝農事組合法人田苗真土（ひがしうわ）▽優秀賞＝農事組合法人久枝生産組合（周桑）◆多収穫米収量コンテスト▽最優秀賞＝山内正紀（周桑）▽優秀賞＝岡田義久（同）、農事組合法人新宮（同）◆農産園芸功労知事表彰（水田農業部門）＝酒井豊嗣（西予市）、農事組合法人SGK組合（西条市）、農事組合法人粟井米麦センター組合（松山市）



県知事賞を受賞した安藤さん

## ●平成30年度中四国ブロック女性TAC・職員研修会

### 女性目線で農業者の要望に応える企画を検討

JA全農えひめ営農支援課は、1月23日、東温市の「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」と松山市のJA愛媛で、「平成30年度中四国ブロック女性TAC・職員研修会」を開きました。

同研修会は、女性目線での営農活動の強化と愛媛県内のJA女性営農職員の交流を深めようと、平成26年度から実施しており、今回は初めて中四国合同で開催し、各地区のJAから23人が参加しました。

研修会の前半は、全国初の農産物直売所とコンビニエンスストア一体型店舗である「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」を視察。後半は、農業法人有限会社豆道楽の渡邊邦廣代表から同社の取り組みについて報告を受け、各班で経営改善提案についてのグループワークを行いました。

参加者からは「女性同士の関わりがないため、今後も継続して意見交換の時間や事例紹介をする研修会を開催してほしい」といった声が上がりました。



東温市にある「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」を研修

## ● J A 青壮年組織代表者と J A 全農えひめとの意見交換会 農業者の所得増大へ 意見交換会を実施

J A 愛媛青壮年連盟は 2 月 26 日、松山市で J A 全農えひめと意見交換会を開きました。J A 青壮年組織の代表者と全農えひめの県本部長、副本部長、各部長ら 31 人が参加しました。

J A 全農えひめは、農業者所得の増大を実現しようと、化成・果樹配合肥料の銘柄集約によるコスト低減や実需者ニーズに対応した販売拡大に向けた取り組みなどを説明。各々が 2019 年度の事業計画案の基本方向なども示しました。

意見交換では、県育成新品種「ひめの凜」の今後の方向性についての確認や、高齢化を抱える産地の現状を踏まえ、無人航空機「ドローン」による農業散布の普及拡大などを求める声などが上がりました。J A 全農えひめは「農家の意見を集約し、J A などと一緒に進めたい」と話しました。



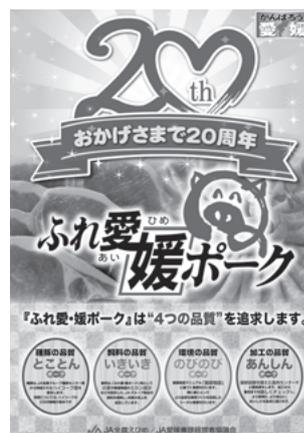
## ● 「ふれ愛・媛ポーク」ありがとうキャンペーン抽選会 20周年の感謝をこめて…

J A 全農えひめ畜産部は、1 月 23 日、松山市で、愛媛県のブランド豚肉「ふれ愛・媛ポーク」などが当たる「『ふれ愛・媛ポーク』ありがとうキャンペーン」のキャンペーン抽選会を行い、J A 愛媛養豚経営者協議会の酒井栄一会長らが、8,374 通の応募ハガキの中から当選者 150 人を選びました。

「ふれ愛・媛ポーク」は、ブランド誕生 20 周年を迎えます。さらなるブランド強化をめざして、昨年 11 月から 12 月中旬まで同キャンペーンを実施しました。テレビ CM の放送に加え、98 店舗の精肉売り場にポスターやリーフレットを設置し、キャンペーンをアピールしました。

応募ハガキには、「やっぱり県内産の豚肉は安心して食べられる」「いつも『ふれ愛・媛ポーク』を買っています」などの声が寄せられました。

J A 全農えひめ畜産部は、「ハガキで寄せられたご意見やご要望を顧客満足の向上に活かし、販売拡大につなげたい」と力を込めます。



酒井会長が当選者選ぶ

## ●学校給食の提供・小学校で食育講座

### 愛媛の「安全・安心」、「おいしい」を知ってほしい

えひめ愛フード推進機構はJ A全農えひめと連携し、1月28日に西条市立壬生川小学校で伊予牛「絹の味」黒ラベル（黒毛和牛4等級以上）を、2月18日に新居浜市立多喜浜小学校で「ふれ愛・媛ポーク」を使用した学校給食を提供しました。この取り組みは、地産地消の推進と、子どもたちに学校給食を通して食の大切さ・命の大切さを伝えることを目的に開きました。

壬生川小学校では肉牛生産者の池田一成さん（愛南町）が、多喜浜小学校では多田ファーム天貢農場（大洲市）の松本太志農場長が食育講座を行いました。「生き物の命をいただいていることへの感謝の気持ちを決して忘れないで」と子どもたちへ呼びかけました。

J A全農えひめ畜産部は「地元産の安全、安心で美味しいお肉を子どもたちにたくさん食べてほしい。行政と連携しながら、今後も継続的に学校給食提供への協力をすすめていきたい」としています。



食育講座をする池田さん



子どもたちと給食を楽しむ松本農場長

## ●児童福祉施設に愛媛県産いちごを贈呈

### いちごを食べて楽しいひな祭りを♪

J A愛媛野菜生産者組織協議会とJ A全農えひめは、社会貢献活動の一環として、楽しいひな祭りを迎えてもらおうと、松山市内3か所の児童福祉施設に県内産いちご約136パックをプレゼントしました。

松山市東本の児童養護施設・愛媛慈恵会では、3月1日、J A全農えひめ野菜花卉課の職員が訪問し、児童たちに、「みんなで食べて楽しいひな祭りにしてください」とあいさつ。県内産の「紅ほっぺ」48パックを手渡しました。

試食用のいちごを頬ばった児童たちは、「甘くて美味しい」「いちご大好き」と笑顔を見せました。

同施設には、この他にJ A全農えひめから昨年12月にクリスマスプレゼントとして、もち米60kgと「POM愛媛ぼんかん」などジュース9ケースを贈呈しました。

J A全農えひめでは、愛媛県社会福祉協議会を通じて、県内計15か所の児童福祉施設に、『ひめライス・もち米』計640kgとジュース計95ケースを贈りました。プレゼントは、全農えひめが1984年から、同協議会は1987年から毎年行っています。



いちごを受け取る児童

## ●第32回ひめライス杯南海放送レディス卓球大会

# スポーツを通じて「ひめライス」をPR！

「第32回ひめライス杯南海放送レディス卓球大会」が、2月3日松山市の愛媛県総合運動公園体育館で開かれ、244組・488人の過去最多のエントリーがあり熱戦を繰り広げました。

同大会は卓球女子ダブルスの大会では県内最大規模を誇ります。今回は17歳から83歳までの選手が出場し、レベル別に5クラスに分かれ、日頃の練習成果を競いました。

㈱ひめライスは、スポーツを通じて愛媛のお米「ひめライス」をPRしようと同大会を応援。参加賞として無洗米「あらうまい！」愛媛県産コシヒカリ1キログラムを提供したほか、副賞として、各クラス優勝の選手に「あらうまい！愛媛県産コシヒカリ」各10キログラム、3位以内の選手に『あらうまい！』各5キログラムを贈りました。

各クラスの優勝ペアは次のとおり（敬称略・所属・

市町）。

◆Aクラス＝島田真美・直野美咲ペア（宇和クラブ・三島ウイングス、松山市・新居浜市）◆Bクラス＝影浦真喜子・渡邊瑞華（今治モナリザ、今治市）◆Cクラス＝本田いづみ・本田早矢香（ザ・スイングクラブ・フェニックス、松前町）◆Dクラス＝日浅桃子・日浅和恵（Hiasa、西条市）◆Eクラス＝武田晶子・武田麻央（SC松山アカデミー、松山市）



最もレベルの高いAクラス優勝の島田真美（左）・直野美咲ペア

## ●2018 58th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS

# JAえひめフレッシュフーズ㈱CM「キミにムチュー編」が受賞

一般社団法人ACC主催の「2018 58th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」で、JA全農えひめグループ会社、JAえひめフレッシュフーズ㈱の「フレッシュ卵卵『キミにムチュー編』」（制作広告代理店＝セーラー広告愛媛本社）がACC地域ファイナリストを受賞しました。

同CMは、「君」と「黄身」、「夢中」と「ムチュー」をかけた「きみに夢中」をテーマに、フレッシュ卵卵を使って作られた卵料理を食べている子ども達の頬に「ムチュー」とキスをする母親達の姿を映しだし、家族の愛情をイメージさせる映像となっています。

同社のACC受賞は、今回が初めて。大津満代表取締役社長は、「名誉ある賞をいただけてうれしい。今後も消費者の印象に残る、インパクトのあるCMを放映し、JAえひめフレッシュフーズと愛媛県産卵の販売拡大につなげたい」と意気込みます。



受賞を喜ぶ（右から）山下博史担当、大津満社長、高須賀豊和製造部長

## ●(株)えひめ飲料

### 応募ハガキ8,637通の 中から当選者1,000人選ぶ

(株)えひめ飲料は、1月21日、松山市安城寺町の本社で、オリジナルグラスなどのPOM食卓セットと愛媛みかんジュースが当たる「のんで!あつめて!ポンジュースでそろえる♪愛媛みかんジュース&POM食卓セットプレゼントキャンペーン」のキャンペーン抽選会を行い、高原茂社長らが、8,637通の応募ハガキの中から当選者1,000人を選びました。同キャンペーンは、発売以来ロングセラーを続ける「ポンジュース」の定着・拡販をめざし、昨年10月上旬から12月末まで実施しました。北海道から沖縄まで全国から応募があり、同社では「こうした取り組みを通じて日頃のご愛顧に感謝し、50周年を迎えるポンジュースをはじめ、POMブランドのファン拡大につなげたい」と意気込みます。



高原茂社長（右から3番目）らが当選者選ぶ

## ●就農候補者を対象に果樹産地体験ツアー 県外就農候補者に愛媛柑橘 の魅力をも!

J Aグループ愛媛担い手サポートセンター連絡協議会（J A全農えひめ）、は「果樹産地体験ツアー」を開催しました。

今回のツアーは、新規就農候補者の育成に取り組む京都府の(株)マイファームが開催する同社アグリイノベーション大学の受講生18名が参加しました。

参加者はJ Aえひめ中央新規就農研修センター北部研修園をはじめ松山市にある辻田農園、青井農園、山岡農園、県果樹研究センターなどを視察し、栽培技術や品種構成などを研修しました。

参加者からは「愛媛県での就農を検討したい」と前向きな声が上がりました。



園地を視察研修する受講生

## ●第57回愛媛マラソン

### 媛ポークランナーズとJ A全農えひめ チームが走る広告塔として力走

「第57回愛媛マラソン（湯ったりオレンジロード）」が、2月10日開催され、「ふれ愛・媛ポーク」生産者、J A全農えひめ職員や関係者など計25人が出場しました。

「媛ポークランナーズ」は、生産者と関係者など18人が『ふれ愛・媛ポーク』のロゴマーク入りユニフォームで出場。「J A全農えひめチーム」も11人がJ A全農えひめのロゴの入った揃いのユニフォームで出場。それぞれ走る広告塔として、沿道の方々にもブランドやJ A全農えひめをアピールしました。



媛ポークランナーズ



J A全農えひめチーム

## ●ひめライス無洗米キャンペーン抽選会 7,489通の応募の中から 当選者550人選ぶ

(株)ひめライスは、3月4日、松前町の本社で、ライスクッカーや伊予牛「絹の味」などが当たる「無洗米あらうまい!」キャンペーンの抽選会を行い、松田一人社長らが、7,489通の応募の中から当選者550人を選びました。

同キャンペーンは、12月17日から2月28日まで実施。期間中はテレビCMやリーフレットを通じて、無洗米「あらうまい!」の経済性や安心・安全をアピールしたほか、量販店で無洗米コーナーの設置（72店舗）や店頭試食販売（5店舗）に取り組みました。

同社の精米売り上げ数量全体に占める無洗米比率は今年度2月末までで27%。今後も戦略商品と位置付け、テレビCM放映等を通じてPRと販売拡大を目指します。



抽選する松田一人社長（中央）

「知って得する統計BOX」は諸般の事情により、今回をもって完結させていただくこととなりました。これまでのご愛読に感謝申し上げますとともに、今後とも中国四国農政局、農林水産省のWebサイトでご案内しております各種統計をご活用いただけますようお願い申し上げます。

# 平成の愛媛県農業をふりかえる

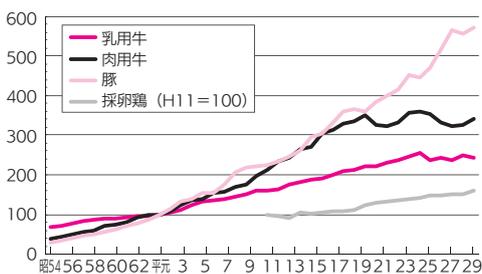
## —平成の30年間の愛媛県農業の動き—

飼養戸数、頭羽数、1戸当たり飼養頭羽数の動き

年次	乳用牛			肉用牛			豚			採卵鶏(注)		
	飼養戸数(戸)	飼養頭数(頭)	1戸当たり飼養頭数(頭)	飼養戸数(戸)	飼養頭数(頭)	1戸当たり飼養頭数(頭)	飼養戸数(戸)	飼養頭数(頭)	1戸当たり飼養頭数(頭)	千羽以上飼養戸数(戸)	飼養羽数(千羽)	1戸当たり成鶏めす飼養羽数(千羽)
平.元	770	14,800	19.2	1,450	27,100	18.7	780	336,900	431.9	-	-	-
平.6	520	13,400	25.8	990	28,500	28.8	390	262,000	671.8	-	-	-
平.11	350	10,800	30.9	550	22,000	40.0	230	224,300	975.2	110	3,441	24
平.16	268	9,850	36.8	338	19,200	56.8	172	225,300	1,309.9	99	3,217	26
平.21	177	7,510	42.4	297	18,100	60.9	135	224,200	1,660.7	76	3,030	31
平.26	137	6,260	45.7	219	14,500	66.2	100	202,500	2,025.0	59	2,841	36
平.30	109	5,090	46.7	166	10,600	63.9	77	189,800	2,464.9	50	2,428	39

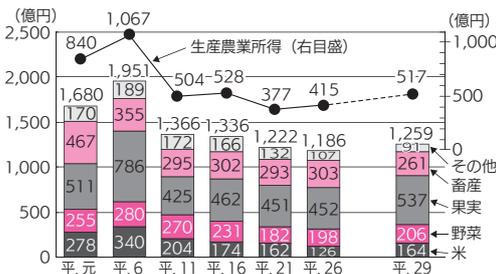
出典：畜産統計  
注：採卵鶏は、平成10年までと11年以降の下限基準が異なるため、10年以前は表章していない。

図1 1戸当たり飼養頭羽数の動き(平.元=100)



出典：畜産統計  
注：センサス年は豚及び採卵鶏の調査がないため前後年の平均値をプロットしている。

図2 農業産出額及び生産農業所得(愛媛県)



出典：生産農業所得統計  
注：農業産出額は単位以下の四捨五入により総額と内訳が一致しない場合がある。

**前** 回は引き続き、今回は畜産統計と生産農業所得統計のデータから、平成の30年間の愛媛県農業の動きを追ってみましょう。

**畜産は大規模化へシフト**  
表は畜産関係の飼養戸数と頭羽数の変遷です。この30年間で飼養戸数はすべての畜種で減少して

います。畜種別に飼養戸数を見てみると、乳用牛は平成元年の770戸から30年には109戸(▲86%)に減少しています。採卵鶏は平成11年(注)の50戸から30年には109戸(▲78%)に減少しています。

図1は、主に4畜種の1戸当たり飼養頭羽数の動きを、平成の動きを、採卵鶏(▲90%)、豚(▲89%)、肉用牛(▲86%)、乳用牛(▲55%)として見たものです。豚、肉用牛、乳用牛とも昭和期から既に昭和期から大規模化が始まっています。平成に入ると、豚は加速して30年間で5.1倍、肉用牛は3.4倍、乳用牛は2.4倍に拡大されています。なお、採卵鶏は平成11年と比較すると1.6倍に減少しています。

図2は農業産出額と、生産農業所得(注2)の動きを見たものです。農業産出額は平成3年に2,005億円を記録し、その後20年余にわたって減少傾向にありました。これは、全体の4割を占める果実の影響が大きく、昭和期に低迷していたみかんの価格が平成2年頃から上昇に転じるとともに、昭和50年代以降拡大したよかんの収穫量がピークを迎えたことによります。

しかしその後、みかん・よかんのほかの柑橘への転換等により生産量が減少し、農業産出額は平成26年には3年の6割、1,186億円となつています。その後は上昇に転じ、ゆめやかに回復傾向を示しています。これは従来のみかん、よかん等に比べ、せとかや紅まんだ、甘平等に新顔の高級柑橘の寄与度が大きくなつてきているためといえます。

また、生産農業所得は平成6年に1,067億円を記録しましたが、11年にはおよそ半分の504億円にまで減少しました。さらに、平成21年には377億円となりましたが、その後はゆるやかに上昇に転じ、29年には500億円を超えるなど、ここ数年回復傾向にあります。

(注1) 採卵鶏は、平成10年までと以降の下限基準が異なるため、10年以前は表章していません。(注2) 生産農業所得は(部門別産出額×部門別所得率)＋経常補助金等。経常補助金とは経営所得安定対策における各種交付金、中山間地域直接支払交付金並びに農業災害補償法に基づいて支払われる共済金等をいう。(★) 検査ワード「畜産調査」「生産農業所得統計」いずれも農林水産省のHPから)

### 農業産出額、生産農業所得とも大きく減少したが近年回復傾向

果樹配合肥料が7銘柄に集約され、トータルコストの低減により農業所得が増大することは嬉しいことであり、高齢化や担い手不足が進む中で、高品質の果実を生産する上でも今後さらに製造、物流の効率化を進めてほしい。  
(大洲市・大本 昭裕さん)

「ポリポーリ」という商品があることを初めて知りました。商品名からどんな食感が想像することができました。「ポリポーリ」が売れることでさといも「伊予美人」の名もさらに広がればいいなと思います。もんじゃ焼きが好評とのことですので、「ポリポーリ」を細かく刻んでもんじゃ焼きのトッピングにしたらおもしろそうですね。  
(松山市・窪田 美緒さん)

エッセーを読んで、5年前に定年退職し、最近家から出ることもなくなったので、笑いもなく運動もしていないため、これはいいものだと思います。これからしてみたいくなりました。  
(伊予市・中村 三枝子さん)

トピックニュース「がんばれ受験生」を読んで。我が家にも受験を控えた娘がいますので「いよかん」と「いい予

感」をかけあわせた感じがとてもおもしろい。これからも愛媛ならではのニュースをとりあげてほしい。  
(内子町・幸山 弘明さん)

「統計ボックス」を読んで。耕地面積・農業者の減少、耕作放棄地や遊休農地が増加する中、新規就農者また労働力の省力化などにどんどん取り組んでほしい。  
(西予市・松末 正さん)

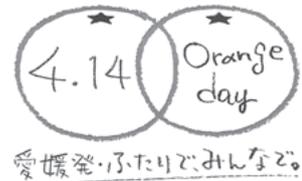
### お知らせ

## 読者名簿更新について

J A全農えひめ情報誌「あぐり〜ど」は、愛媛県内J Aの役員（非常勤理事・監事含む）・職員、生産組織や女性組織のリーダー、県行政や関係機関、県内報道機関を対象に無料配付しています。

読者名簿の更新を随時行っています。名簿更新により、新たにお届けする方とお届けできなくなる方がいらっしゃいます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 4月14日は愛媛発祥の「オレンジデー」



4月14日=「オレンジデー」は、「愛のシンボル」であるオレンジを贈り合い、愛を育み大切な人との絆を深める記念日です。「オレンジデー」は、平成6年に愛媛県内のかんきつ生産農家が発案したとされ、J A全農えひめが平成21年5月に日本記念日協会に登録した記念日です。

### ◆イベント情報

「オレンジデー」当日の4月14日(日)、松山市の道後温泉別館飛鳥乃湯泉前と松山空港1階到着ロビーで、愛媛いよかん大使らが旬の柑橘「清見タンゴール」をそれぞれ414個(1人1個)を無料配布します。

### 〔4月14日サンプリングイベント〕

9時～ 道後温泉別館 飛鳥乃湯泉前  
13時30分～ 松山空港1階到着ロビー

## 編集後記

私事ですが、2月末に結婚し、実家から引っ越して夫と二人で暮らし始めました。お互い一人暮らしを一度もしたことがない生活力ゼロの私たちは何をすることも時間がかかる…。食べることが大好きな夫にはできるだけ出来合いのものではなく、健康的な手作り料理を食べさせてあげたい。でも、手際よく食事が作れず苦戦。まだまだ修業が足りないようです。

職場の先輩に頂いた某人気料理番組の雑誌1年間分を教科書になんとか新妻頑張りたいと思います。  
(有紗)

## 今月のクイズ

愛媛いよかん大使による消費宣伝キャンペーンは今年で何回目でしょうか？

### 〔第〇回〕

### プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



### 応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

### 締切り

2019年5月15日(当日消印有効)

### 発表

「あぐり〜ど」6-7月号で発表します。

### 当選者発表

2-3月号の答えは「(第)37(回)」でした。たくさんのお便りありがとうございました。

厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

山田八重子さん(宇和島市)  
三木江正治さん(西予市)  
中村 康一さん(伊方町)  
高岡 朋代さん(東温市)  
松本 恵子さん(松山市)  
馬越 美保さん(今治市)  
乾 律子さん(今治市)  
近藤 千恵さん(西条市)  
仙波美和子さん(四国中央市)  
宝利 礼子さん(四国中央市)

今月の素材  
アスパラガス



アスパラギン酸で  
疲労回復、活カアップ

▶(右前) アスパラガスと新玉のかき揚げ (左前) アスパラガスつくね巻き  
(後) アスパラガスと新じゃがの明太マヨ和え



指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大佐古 正子先生

アスパラガスと新じゃがの明太マヨ和え

〈材料・4人分〉	※1人あたり約141kcal
アスパラガス	4本
新じゃがいも	中2個(約200g)
塩	少々
チリメンジャコ	10g
④ 辛子明太子	1腹
マヨネーズ	50g
醤油	小さじ1/2

〈作り方〉

- ① アスパラガスは4cmの斜め切り、じゃがいもは細切り。それぞれ塩茹でし、冷水にとる。
- ② ボウルに①とチリメンジャコを入れ、混ぜ合わせた④を加え、さっくりと混ぜ合わせる。

※明太子は膜に切り込みを入れ、包丁の背で押し出して取り出す。

アスパラガスつくね巻き

〈材料・4人分〉	※1人あたり約188kcal
アスパラガス	4本
豚ひき肉	200g
青ネギ(小口切り)	2本
生姜(すりおろし)	小さじ1
塩	小さじ1/4
④ コショウ	少々
砂糖	小さじ1
醤油	小さじ2
卵	1個
ゴマ油	小さじ1
片栗粉	大さじ2
サラダ油	適量

〈作り方〉

- ① アスパラガスは塩茹でし、冷水にとる。
- ② ボウルに豚ひき肉と④を入れてよく混ぜ、青ネギを入れて混ぜる。
- ③ ①に②を巻きつける。
- ④ フライパンにサラダ油を熱し、③を転がしながら焼く。
- ⑤ ④を3等分に切って、器に盛りつける。

※作り方③は、ラップにタネ②を広げ、アスパラガスをのせて巻くと成形しやすい。

アスパラガスと新玉のかき揚げ

〈材料・4人分〉	※1人あたり約261kcal
アスパラガス	6本
新玉ねぎ	1個
桜エビ	15g
薄力粉	適量
(天ぷら衣)	
④ 冷水	150cc～
卵黄	1個分
薄力粉	1カップ～
片栗粉	大さじ2
揚げ油	適量
レモン(くし切り)	1/2個
塩	適量

〈作り方〉

- ① アスパラガスは4～5cmの斜め切り、玉ねぎは1cmのくし切りにする。
- ② ボウルに①と桜エビを入れてざっくり混ぜ、薄力粉を振り入れて全体にからめる。
- ③ 別のボウルに④を入れて混ぜ、菜箸でさっくりと混ぜ、②と合わせる。
- ④ 鍋に油を170℃に熱し、③を入れてかき揚げをつくる。(1人2個)
- ⑤ 器に天ぷら敷紙を敷き、④を盛り、レモンと塩を添える。

えひめ逸品柑橘  
かわちばんかん  
愛媛河内晩柑  
ゼリー 期間限定

柑橘王国「愛媛」の隠れた逸品をお届け

「河内晩柑」は品種が発見された熊本県にある河内町の「河内」と、遅い時期に採れる柑橘類の総称「晩柑」から名付けられました。爽やかな香りと味わいが特徴の河内晩柑ゼリーをお楽しみください。

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地  
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

<https://www.ehime-inryo.co.jp>  
(通販専用)<https://www.pom-j.com>



全国発送  
承ります



**えひめ100  
みかんいよかん混合**

1,000ml×6本／ケース

愛媛産の温州みかんといよかんを主体にブレンドした濃い果実感が楽しめる果汁100%ジュースです。



**えひめ100つぶ  
みかんいよかん混合**

1,000ml×6本／ケース

愛媛産の温州みかんといよかんを主体とした果汁にみかんの果粒(つぶ)を加えた果実分100%の粒入りジュースです。



**えひめ  
みかんいよかん混合**

350ml×24本／ケース

愛媛産の温州みかんといよかんなどを使用した、飲みきりサイズの果汁50%飲料です。



**愛媛の味わい  
柑橘100**

1,000ml×6本／ケース

愛媛産のボンカンといよかんを主体に愛媛の柑橘をブレンドした深みのある爽やかな味わいの果汁100%ジュースです。



**愛媛の清見**

1,000ml×6本／ケース

愛媛産の清見を使用した、甘味と酸味のバランスが絶妙な果汁30%飲料です。



**POM  
塩と夏みかん**

490ml×24本／ケース

伯方の塩と国産夏みかんを使用した熱中・暑さ対策飲料です。

※宅配運賃について ●同一受注同一送付場所ですべて5ケース以上の場合には配送運賃は無料です。●5ケース未満の場合は、ケース毎に500円(税込)加算します。

県産品愛用運動

4月1日～8月31日

お問い合わせ・ご注文は 県内各JA・JA全農えひめへ



VOC  
FREE

T&K

VOC(揮発性有機化合物)成分フリーのインキを使用しました。

UD  
FONT



「えひめの食」Instagram

アカウント：ehimenosyoku



あぐり~どはWEBでも読めます

<http://www.eh.zennoh.or.jp>